

◆大戸まちづくり協議会



大戸まちづくり協議会は令和2年6月30日(火)設立。毎月第1木曜夜6時30分から大戸公民館で会議をしています。産業部会・福祉部会・教育部会に分かれ、それぞれの分野で大戸町の活性化、発展のため活動しています。

大戸地域の自慢と誇りを発見し、地域の課題を解決するために考え、実践することを通して地域住民の福祉の増進、産業の新興、生活文化の振興等に寄与するとともに、協働による地域づくりを推進していくため、設立となりました。

会長 星 憲隆氏



◆映画「奇跡の小学校の物語」



8月8日(土)上映。統廃合になる学校を守るため、住民みんなの力で地域を活性化した物語。大戸での取り組みを考えるきっかけとなりました。

◆大戸マルシェ(芦ノ牧温泉駅)



10月31日(土)~11月1日(日)大戸産の農産物や芋汁等の直売所を開催。地元の方や多くの観光客が訪れ、午前中ではほとんどの商品が完売するなど大盛況の2日間でした。

◆竹灯籠まつり(芦ノ牧温泉駅)



8月15日(土)猫駅長で有名な芦ノ牧温泉駅でライトアップイベントを開催。大戸まちづくり協議会、会津短大、市役所、社会福祉協議会、地域包括支援センターが協力して約100本の灯籠を駅のホームに設置。灯籠の光が見る人の心を癒してくれているようでした。

門田・大戸・城南小学校区の医療・福祉・介護の相談窓口

会津若松市 若松第3地域包括支援センター

☎(0242)38-3090 FAX(0242)38-3091

- ◎住まいの地域で認知症の人がいる
 - ◎一人暮らしで生活に不自由している人がいる。
 - ◎認知症で家に戻れなくなって保護される人がいるので、心配…
 - ◎近所で怒鳴り声が聞こえる。虐待かしら？
 - ◎年齢と共に体が弱くなってきた。
- こんな時は、お気軽にご相談ください。相談無料、秘密厳守します。

お知らせ

●介護予防体操を映像化しました。長寿園公式サイトまたはインターネット検索→若松第3地域包括支援センターで入力すると介護予防体操を視聴することができます。「家で軽い体操がしてみたい！」そんな方は必見！

社会福祉法人 会津長寿園公式サイト
▶ www.choujuen.or.jp
サイト内お知らせ→包括支援 Blog で本誌の閲覧できます。

◀編集後記▶

年3回の発行を行っている情報誌 SUN3 です。これからも地域の情報を掲載し皆さんに門田・城南・大戸地区を知って頂けるような情報誌にしていきます。若松第3地域包括支援センター 小柳慎



第4号

地域の情報誌

SUN3 サンサン

地域情報誌 SUN3(サンサン)は若松第3地域包括支援センター発行の門田・大戸・城南の地域情報誌です。

大戸町

芦ノ牧温泉駅

竹灯籠まつり

令和二年八月十五日

芦ノ牧温泉駅にて大戸町夏祭りと合わせてライトアップイベントを開催。



地域のサロン知ってますか？

サロンとは皆さんが生き生きと暮らすための地域活動の場です。住みなれた地域で気軽に集会所などに集まり、楽しみや生きがい作り・介護予防・経験や知識を若い人達に伝えるなど活動は様々です。最近では、サロンで集まっている方々で清掃活動など地域支援を積極的に行われている地区も多くなりました。

3名程度からサロン作りができます。運営に必要な補助金制度利用についてのアドバイス、広報活動などの相談を受けていますので、気軽に声をかけて下さい。

看護師 高橋



手作り餃子



城南コミュニティーセンター 【男の料理教室】編

『男の料理教室』は、その名の通り男性率100%のサロンです。毎回多彩なメニューを男性だけで調理し、出来上がった料理を囲んで交流を図っています。男性が活動しているサロンがもっと増えるといいなー!!



社会福祉士
三鈺

大坪団地老人会 【気楽会】編



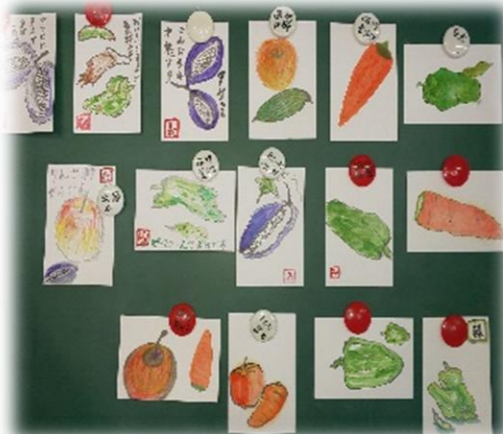
大坪団地集会所で、Wiiボウリング大会が開催されました。男性・女性チームに分かれて実施し、チーム内で応援しながら大変盛り上がりしました。



Wii ボウリング

看護師
渡邊

大戸南原サロン 【南原元気いきいき会】編



絵葉書作り

集会所で住民の方と一緒に絵葉書を描きました。野菜や果物を見ながら、個性あふれた美味しそうな絵を上手に描いていました。皆さんの素敵な笑顔でこちらが元気をもらっています。



認知症地域
支援推進員
(看護師)
菅家

【門田地区のわたしたちのスローガン】



民生児童委員会 長寿会代表 区長会長 区長会副会長 門田保健委員会

地域ケア会議とは？

包括支援センターが開催し、これからの高齢化社会を支えるための、医療・福祉・介護について地域の有識者と課題を的確に把握し、解決していく手段を導き出すための会議です。

<わたしたちのスローガン>

はじめよう 「えがお」 であいさつ 門田町

<包括支援センターと地域と一緒に取り組むテーマ>

- あいさつで地域のつながりを作ろう。
- あいさつで顔の見える関係ができれば高齢者の見守りができる。
- 地区ごとの防災対策をしよう。

～地域の皆様～

子どもは大人の背中を見て育つものです。挨拶をして地域の方々が顔の見える・支えあえる関係を今のため、将来のため一緒に作っていきましょう。

若松第3地域包括支援センター

地域ケア会議 (門田地区)
 本年は新型コロナウイルス感染症問題にて、開催自体が不透明な状況となっていました地域ケア会議ですが市と協議の結果、感染対策に配慮して開催しました。

門田地区で全3回開催し、これまで行われてきた地域での取り組みや、課題など参加者で意見の交換を行い、これからの門田地区の福祉について立案し、スローガンを掲げ、支えあいの社会を地域で築く事としました。

はじめよう
「えがお」であいさつ
門田町

門田地区防災デイキャンプ

昨年から2度にわたり門田地区では台風による暴雨があり、公民館が避難所として開設していたことは記憶に新しいと思います。そんな中、市民の防災意識の高まりを受け、南公民館・市役所危機管理課主催で防災講座を行いました。

門田町は山沿い・平地・川沿いと地区によって避難方法が異なりその地域にあった避難方法や助け合いを考えなくてはなりません。そのため、地域・町内単位で助け合う自主防災組織を立ち上げる町内会もあり、少しずつ助け合いの輪が広がっています。

町内で危険箇所の把握や、連絡網を考えるのも良いですね。

まずは、昨年度に会津若松市から配布された防災ガイドブックを見てみましょう。最寄りの避難所や備蓄品等について家族や友人と話し合い確認することが第一です!



段ボールベッド体験

●段ボールベッド
災害時に簡単に組み立て可能な段ボール製の簡易ベッド